

事業評価書

| | | | | | | | |
|-----------------------------|---|----------------|---|---|---|---|----------------|
| 補助事業名 | 芦屋飛行場関連公共用施設（交通施設：山鹿・亀の甲線）整備事業 | | | | | | |
| 補助事業者名 | 芦屋町長 | | | | | | |
| 実施場所 | 芦屋町山鹿 | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | 町道：山鹿・亀の甲線は、住民の重要な生活道路である。 地元より本路線にひび割れが発生し、路面沈下より擁壁・側溝が傾き危険であることから、道路改良の要望があった。 今回、道路改良工事を実施することで利用者の安全を図り、安心安全なまちづくりを推進することを目標とする。 | | | | | | |
| 補助事業の内容 | 改良工事 延長L=57.4m、幅員W=4.0m | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 平成28年度 | | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 28年度 | | | | | 計 |
| | 事業費 | 円 3,764,880 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 3,764,880 |
| | 交付金額 | 3,764,000 | | | | | 3,764,000 |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | <p>事業完了後、区長および地域住民にアンケート調査を行ったところ、「整備前と比べ通行に対し安全・安心感は変わりましたか？」との質問に対し、「①以前より安全・安心である②変わらない③不安になった」の三択で回答を求めた結果、①の以前より安全・安心であるとの回答が7割以上であった。自由筆記の意見では、道路勾配が確保され排水状況が良好となった等の意見が得られ、安心安全なまちづくりに寄与する事ができた。</p> <p>また、工事看板及び地域住民への回覧に「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」であることを明記し、周知を図った。</p> | | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 無 | | | | | | |
| 事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | |

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

| | | | | | | | |
|-----------------------------|--|-----------------|---|---|---|---|-----------------|
| 補助事業名 | 芦屋飛行場関連公共用施設（環境衛生施設：防犯街灯）整備事業 | | | | | | |
| 補助事業者名 | 芦屋町長 | | | | | | |
| 実施場所 | 芦屋町 栗屋区ほか | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | <p>経年による劣化・腐食等により機能に支障をきたしている防犯街灯の取り替え及び未整備箇所への新設を行い、生活道路や通学路の夜間における犯罪や事故を抑止し、住民の安心安全を確保する。</p> <p>参考指標 防犯街灯の設置数及びLED化率 平成28年4月1日現在 1,025灯 内LED街灯 300灯 (LED化率29.3%)</p> | | | | | | |
| 補助事業の内容 | 防犯街灯設置・取替工事 360灯(新設4灯、取替356灯) | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 平成28年度 | | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 28年度 | | | | | 計 |
| | 事業費 | 円 14,867,280 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 14,867,280 |
| | 交付金額 | 14,854,000 | | | | | 14,854,000 |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | <p>工事対象区域の住民に整備後、アンケートを取り事業の評価をおこなった。アンケートの結果、整備工事により危険箇所が減り、防犯及び交通等の安全に寄与しているとの意見があがった。また、蛍光灯からLED灯に変更したことにより、見通しがよくなり安全性が向上しているとの意見もあり、住民の安心安全の確保を達成できた。</p> <p>また、28年度事業完了後のLED化率は約64%となっており、着実にLED化を進めることができている。</p> <p>周知については、地域住民への回覧および町ホームページにて、特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施した旨を掲載している。</p> | | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 無 | | | | | | |
| 事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | |

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

| | | | | | | | |
|-----------------------------|---|----------------|---|---|---|---|----------------|
| 補助事業名 | 芦屋飛行場関連公共用施設（教育文化施設：山鹿貝塚サイン設置工事）整備事業 | | | | | | |
| 補助事業者名 | 芦屋町長 | | | | | | |
| 実施場所 | 芦屋町大字山鹿863-4外1箇所 | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | 山鹿貝塚は縄文時代の遺跡であり、約3500年前に埋葬された様々な装身具を身につけた人骨が多数出土したことから、全国的に著名である。一方、道路から遺跡であることが分かりづらいことや、既存の説明看板が小さく視認性、情報量が不十分であること、貝塚丘陵上の人骨出土地までの誘導サインがないことなどから、見学者より苦情が寄せられ、改善を迫られている。このことから、3箇所にサインを設置し、視認性の向上、情報の充実を図る。 | | | | | | |
| 補助事業の内容 | サイン看板設置 3基 | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 平成28年度 | | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 28年度 | | | | | 計 |
| | 事業費 | 円 2,384,316 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 2,384,316 |
| | 交付金額 | 2,384,000 | | | | | 2,384,000 |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | 見学者にヒアリングを行ったところ、「看板が変わって見やすくなり、また場所がわかりやすくなった」「既存の説明板よりも情報量が増えており、感心した」等の意見が得られており、視認性及び情報発信の充実を図ることができた。 周知については、工事看板及び大型パネルに「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」である旨を記載した。 | | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 無 | | | | | | |
| 事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | |

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

| | | | | | | | |
|-----------------------------|--|------------|------------|------------|---|------------|------------|
| 補助事業名 | 芦屋飛行場関連特定事業（交通に関する事業：芦屋町バス運行事業基金） | | | | | | |
| 補助事業者名 | 芦屋町長 | | | | | | |
| 実施場所 | 芦屋町 | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | <p>芦屋町において、鉄道路線はなく路線バスが主要な公共交通であり、高齢者や通勤通学者の生活に欠かせないものとなっているが、利用者の減少及び行政の財政負担の増加が課題となっている。</p> <p>このため、事業主体であるバス運行事業の利用促進策を講じながら、地域公共交通の充実及び確保、維持を図る。</p> <p>(参考指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芦屋タウンバス年間利用者数:約90,000人 ・芦屋タウンバス年間運賃収入:約27,000,000円 ・芦屋タウンバス1日便数:平日67便、土休日41便 ・町内巡回バス年間利用者数:約36,000人 | | | | | | |
| 補助事業の内容 | 芦屋タウンバス及び巡回バスにおける運行費用に充当。 | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 平成27年度～平成37年度まで | | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | | 27年度まで | 28年度 | | | 計 |
| | 基金造成額 | 交付金額 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| | | 市町村費等 | 0 | 0 | | | 0 |
| | | 運用益 | 0 | 45,001 | | | 45,001 |
| | | 計 | 20,000,000 | 26,664,001 | | | 46,664,001 |
| | 基金処分類 | 0 | 20,000,000 | | | 20,000,000 | |
| | 基金残額 | 20,000,000 | 26,664,001 | | | 26,664,001 | |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | <p>芦屋タウンバスについては、運行事業者の毎月の利用状況を確認したところ、年間利用者数が97,303人、年間運賃収入が29,039,950円であった。</p> <p>また、町内巡回バスについては、3週間の平均利用者数を調査し、1日あたり約110人、年間利用者数は推計33,864人となった。</p> <p>芦屋タウンバスと町内巡回バスのトータルでの平成28年度年間利用者数はおよそ131,167人、運賃収入は29,039,950円であり、安定的な事業運営ができており、地域公共交通の充実及び確保、維持を図ることができている。</p> <p>また、周知については特定防衛施設調整交付金周辺整備調整交付金(防衛省)により助成されている旨を町広報及びバス車内へ掲示し、地域住民へ周知を行った。</p> | | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 無 | | | | | | |
| 事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | |

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分類及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

| | | | | | | | | |
|-----------------------------|--|------------|-----------------|-----------------|---|---|------------|-----------------|
| 補助事業名 | 芦屋飛行場関連特定事業 (教育、スポーツ及び文化に対する事業：学力向上事業基金) | | | | | | | |
| 補助事業者名 | 芦屋町長 | | | | | | | |
| 実施場所 | 芦屋町 | | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | 芦屋町立小学校及び中学校では、児童・生徒が確かな学力を身につけるために、毎年度、きめ細やかな始動を行なえるような人的配置を実施している。 このため、学力向上事業基金を設置し、35人学級、少人数対応、小中一貫、イブニングスタディへ講師を配置することにより、児童・生徒に応じたきめ細やかな学習指導を充実させ、基礎的な知識や技能の習得を通じて学力の向上を図ることを目的とする。 | | | | | | | |
| 補助事業の内容 | 常勤、非常勤講師の雇用 | | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 平成27年度から平成37年度まで | | | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 27年度 | 28年度 | | | | 計 | |
| | 基金 造成 額 | 交付金額 | 円 28,564,000 | 円 21,160,000 | 円 | 円 | 円 | 円 49,724,000 |
| | | 市町村費等 | 0 | 0 | | | | 0 |
| | | 運用益 | 0 | 64,270 | | | | 64,270 |
| | | 計 | 28,564,000 | 21,224,270 | | | | 49,788,270 |
| | 基金処分別 | 0 | 17,700,000 | | | | 17,700,000 | |
| | 基金残額 | 28,564,000 | 32,088,270 | | | | 32,088,270 | |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | 学校長にヒアリングを行った結果、「講師の加配により、児童・生徒に対して、きめ細やかな指導を行うことができたため、児童・生徒の知識や技能の理解を高めることが出来た。」という意見が得られ、本事業が児童・生徒の学力向上に寄与していることを確認した。 また、地域住民には、広報誌やHPで特定防衛施設周辺整備調整交付金事業による旨を掲載することで周知を図っている。 | | | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 無 | | | | | | | |
| 事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | | |

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分別及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

| | | | | | | | |
|-----------------------------|---|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 補助事業名 | 芦屋飛行場関連特定事業(医療に関する事業:芦屋町子ども医療費助成事業基金) | | | | | | |
| 補助事業者名 | 芦屋町長 | | | | | | |
| 実施場所 | 芦屋町 | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | 芦屋町は子育て支援策として、疾病の早期発見と治療を促進し、子どもの保健の向上と福祉の増進を図るため、中学生以下の子どもの医療費助成を行っている。 このため、芦屋町子ども医療費助成事業基金を設置し、保護者の自己負担分へ助成金を充てることで、子育て世帯の負担軽減を図り、子育て支援に寄与することを目標とする。 | | | | | | |
| 補助事業の内容 | 芦屋町子ども医療費の支給に関する条例により支給する費用で、次の各号に掲げる額の全額又は一部の額について充当するものとする。 (1) 中学校1年生から3年生までの自己負担分相当額 (2) 子ども医療費支給事業費県費補助金交付要綱に定める3歳以上の所得制限により対象から除かれた者に係る自己負担分相当額 (3) 子ども医療費支給事業費県費補助金交付要綱に定める3歳以上の定額自己負担相当額 | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 平成23年度から平成37年度まで | | | | | | |
| 事業費及び交付金額 (単位:円) | | 24年度まで | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 計 |
| | 基金 交付金額 | 145,908,000 | 65,406,000 | 50,772,000 | 1,000,000 | 0 | 263,086,000 |
| | 市町村費等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 運用益 | 18,135 | 17,511 | 292,870 | 483,999 | 681,072 | 1,493,587 |
| | 計 | 145,926,135 | 65,423,511 | 51,064,870 | 1,483,999 | 681,072 | 264,579,587 |
| | 基金処分額 | 15,000,000 | 15,000,000 | 18,000,000 | 22,000,000 | 20,000,000 | 90,000,000 |
| 基金残額 | 130,926,135 | 181,349,646 | 214,414,516 | 193,898,515 | 174,579,587 | 174,579,587 | |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | 対象者へのアンケート調査を実施した結果、全対象者が本事業の継続を望んでおり、1名を除いて「子育て世帯の負担軽減に役立っている」との回答を得られ、子育て支援に寄与することができた。 28年度の医療費助成件数は、19,922件である。 また、地域住民には、広報誌やHPでの掲載をすることで周知を図った。 | | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 無 | | | | | | |
| 事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | |

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。